

学ぶ輪をみんなで広げよう

～ 9月16日は「教育の日」～

市の生涯教育推進本部と教育委員会では、昭和51年から年1回「教育の日」を定め、市民の皆さんに教育活動への参加を呼びかけ、教育的風土づくりにつとめていますが、今年は9月16日を「教育の日」とし、当日は午前9時に市内小中学校児童生徒のトランペット鼓隊などによる市内パレードで開幕。市民体育館を主会場に中央公民館などで各種行事が展開されます。

市民体育館・中央公民館で 多彩な行事を展開

＜市民体育館会場＞

- ◆9:30～10:00 式典
- ◆10:00～11:30 記念講演
講師・石川忠雄氏（慶応義塾塾長）
演題・「これからの社会と教育」

石油の違法貯蔵は

厳罰されます

最近の石油事情の悪化により、無許可のガソリン、軽油等の隠し油が頻りに摘発されている現状ですが、これは、一旦火災が発生した場合、大惨事につながるため、これを防止する目的からも消防法では一定の数量（指定数量）以上を貯蔵、取扱いするには許可を受けた施設で貯蔵し、取扱いしなければならないことになっています。

このため消防本部では、随時立入検査探索等を行ない、違法貯蔵を発見した場合は告発等の厳正な法の運用を期す方針です。

参考までに法定数量はガソリン100ℓ、灯油、軽油500ℓ、重油2,000ℓですので、この数量以上保有すると処罰の対象となります。



- ◆11:30～12:00 記念論文発表 表彰
- ◆12:30～13:00 プラスバンド演奏
- ◆13:00～14:30 討論集会（分科会）

＜討論会のテーマ＞

望ましい教育環境づくりと未来に生きるたくましい子供の育て方を考える。

＜パネラー＞

- 幼稚園、小学校部会……市民体育館
元秋大付属幼稚園副園長 中村ギン氏
- 中学校、高校部会……秋田大会館
秋田大学助教授 倉田正義氏
- ◆14:30～15:00 討論集会（全体会）
- ◆15:00～17:00 楽しく学が集い

＜中央公民館会場＞ 9:00～17:00

- ◆図画書道展
- ◆発明工夫展（9月14日～17日12:00）

第4回記念論文を

募集します

第4回「教育の日」設定記念論文を次により広く市民の皆さんから募集します奮ってご応募ください。

＜論文のテーマ＞

教育に関するものであれば、どんなテーマでも結構です。

＜応募締切＞

9月10日（当日消印有効）

＜応募資格＞

市内に在住する、学生以外の市民（勤労学生は可とします）

昨年の教育の日でのパネル討論会

＜応募方法＞

400字詰原稿用紙5枚程度とし、住所、氏名、年齢、職業を明記して下記へお送りください。
大館市中城20
大館市役所内
「大館市生涯教育推進本部事務局」

＜賞＞

- 最優秀論文 1編
（副賞 2万円）
- 優秀論文 1編
（副賞 1万円）
- 佳作論文 3編
（副賞 5千円）

＜入選発表＞

直接本人に通知するほか、教育の日の9月16日に、市民体育館でも発表します。

※ なお、詳しいことは、市教育委員会内の「生涯推進本部事務局」へお問い合わせください。

☎42-1212
内線-214

8月14日 合同慰霊祭

700人が列席しておごそかに



8月15日 成人式
九〇人が大人へステップ



こんにちは！ 保健婦です

打身・ねんざの応急処置

スポーツの秋、打身、ねんざは戸外での運動につきものです。たとえ競技中でも無理をしないですぐ手当をしましょう。

＜手足のねんざ＞

ねんざは、関節をその動く方向以外に無理に動かした時に起こります。ねんざしたときは、患部を動かさないようにして、まず冷やします。痛いのをがまんして動かしたり、冷湿布しないで放っておいたりすると患部ははれてきます。

手首、ひじの場合は、三角布などで首からつつて患部が動かないよう保護します。

足首の場合は、すぐクツをぬがせ痛みがひどい時は無理にぬがせず、クツをハサミで切りとるとよいでしょう。

軽いねんざの場合は冷やして痛みとは



れがひいたら温湿布にかえ、患部の血行をよくして関節組織の回復をはかります。痛みが強いとき、はれがひかないときは、患部を動かさないようにしてお近くの外科医へ。

＜手足の打ち身＞

打撲でできたはれは、普通1週間～10日でひきますが、それでも痛むようなときは、やはりねんざと同じように、タオルなどを冷水に浸して、患部を冷やします。

傷がある場合は、細菌の感染を防ぐためにも、まず傷の手当てをし、油紙などでおおってから冷湿布をしましょう。

国民年金だより

◆ 成人おめでとう

20歳になったら国民年金へ！

20歳の皆さん、成人おめでとう。本市では約900人が成人式を迎えました。

20歳になったその日から成人としてのいろいろな権利が与えられますが、同時に社会的な義務も負うことになります。国民年金に加入することもそのひとつです。

国民年金は老後の生活や、思いがけない事故に備えて、国と加入者が資金を出し合って運営されている年金制度で、職場の年金に加入していない20歳から59歳までの方は必ず加入しなければなりません。

人間だれでも年をとります。成人したばかりなのに老後のことなど「バカらしい」と考えているあなたも、将来あわてないように今から備えましょう。

加入手続きは簡単です。市役所市民課年金係へ印鑑を持ってきていただくだけで済みます。

◆ 年金委員紹介

今回は十二所地区の年金委員を紹介いたします。加入や給付など年金に関することは何でもご相談ください。

＜氏 名＞	＜区 域＞	＜電 話＞
藤島辰三郎	大 滝	52-2071
石井 ハツ	大 滝 1区	52-2112
奈良 タネ	大 滝 2区	52-2238
高田 末蔵	下 町	52-2630
高田吉次郎	中 町	52-6828
山利之助	上 町	52-2440
石井 七郎	上 新 町	52-2235
畠山 長司	別 所	52-2132
田村 晃	沢 尻	52-6272
佐藤宇一郎	葛 原	
小畑 幸治	葛 原 開 拓	52-3076
中山 吉行	猿 間	52-6512
高松良之助	浦 山	52-6568
柴田岩之助	軽井沢 1区	52-2297
柴田専一郎	軽井沢 2区	52-6656
畠山金五郎	曲 田	52-6712
奈良定五郎	道 目 木	52-6747